

2022年度教育行政の主要事業等について

～「あいちの教育ビジョン2025」における主な施策の取組の方向～

資料

※丸囲み枠内
・ゴシック体（下線）…2022年度新規事業

あいちの教育ビジョン2025の『基本理念』

「自らを高めること」と「社会の担い手となること」を基本とし、ふるさとあいちの文化・風土に誇りをもち、世界的視野で主体的に深く学び、かけがえのない生命や自分らしさ、多様な人々の存在を尊重する豊かな人間性と「知・徳・体」にわたる生きる力を育む、あいちの教育を進めます。

【基本的な取組の方向1】

自ら学びに向かう教育を充実させ、自己の可能性を伸ばす力を育みます

① 主体的・対話的で深い学びの推進ときめ細かな指導の充実

新学習指導要領が求める、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に努め、「個別最適な学び」と従来からの仲間との学び合いを中心とする「協働的な学び」のそれぞれのよさを発揮させることで、「生きる力」の育成を図ります。

- ◇新学習指導要領（小：2020、中：2021、高：2022実施）を踏まえた授業改善の推進
- ◇35人学級を、小学校第1学年から第3学年及び中学校第1学年に加え、小学校第4学年に拡充
- ◇専科指導教員を増員し（専任100人→131人、非常勤講師32人→38人）、小学校高学年における教科担任制を推進

② 情報活用能力の育成とICT活用教育の推進

ICTを活用した個別最適な学びと社会とつながる協働的な学びの実現を目指すとともに、「新しい生活様式」に対応した学校教育の充実を図ります。

- ◇県立学校の全児童生徒に1人1台タブレット端末を配備（2022年度完了）
- ◇GIGAスクール運営支援センターの整備、情報通信技術支援員の配置
- ◇オンライン学習支援サービスの活用
- ◇県立学校のインターネット通信環境の改善

③ SDGsの理念を踏まえた教育の推進

持続可能な社会づくりの担い手を育むため、SDGsとのつながりを意識しながら、ESD（持続可能な開発のための教育）をはじめとする教育活動を一層推進します。

- ◇ESDの推進拠点であるユネスコスクールの活性化
- ◇「あいち環境学習プラザ」等における、環境学習の実施
- ◇高校生による地域の環境についての調査・研究や、研究成果の普及・発信

④ 多様な学びを保障する学校・仕組みづくり

児童生徒の学習に対する興味・関心や希望する進路の多様化等に対応するため、「県立高等学校教育推進実施計画（第2期）」及び「県立高等学校再編将来構想」に基づき、多様なニーズを踏まえた県立高等学校づくりを推進します。

- ◇理数科の設置（瑞陵高校・岡崎北高校：2022年度）◇国際探求科の設置（刈谷北高校：2023年度）
- ◇全日制単位制への改編、企業連携コースの設置（守山高校、幸田高校：2022年度）
- ◇新しい実習船「愛知丸」の建造（三谷水産高校：2022年度調査・設計）
- ◇城北つばさ高校を、本県初の昼間定時制総合学科に改編（2023年度）
- ◇県立高校の魅力化・特色化、再編の推進
 - ・稲沢地区（2023年度新校開校）、津島地区（2025年度新校開校）における新設高校の整備
 - ・新たなタイプの学校の設置（2023年度：犬山南高校、御津高校）
 - ・商業高校のリニューアル（2022年度：東海樟風高校 学科改編、校名変更）
 - ・県立高校への併設型中高一貫教育制度の導入の可能性の検討
- ◇新しい公立高等学校入試制度の導入
 - ・マークシート方式の学力検査、出願手続のオンライン化

⑤ 理数教育の推進

興味・関心を起点として主体的に課題を解決していく学習や探求型学習を進めるとともに、STEM教育やスーパーサイエンスハイスクールなどの取組により、理数教育をさらに充実します。

- ◇研究指定校（あいちSTEMハイスクール）におけるSTEM教育の実施
- ◇あいちSTEM能力育成事業、IT・航空STEM講座の開催

⑥ 特別支援教育の充実

「第2期愛知県特別支援教育推進計画（愛知・つながりプラン2023）」に基づき、障害の有無によって分け隔てられないことがない共生社会の実現に向けて、特別支援教育を一層充実します。

- ◇特別支援学校の新設等
 - ・にしお特別支援学校（2022年度開校）
 - ・千種豊学校ひがしうら校舎（2023年度開校）
 - ・岡崎特別支援学校の移転整備（2024年度開校）
- ◇スクールカウンセラーの配置（2人→5人）、スクールソーシャルワーカーの配置（2人）、就労アドバイザーの配置（4人→5人）
- ◇にしお特別支援学校開校及び岡崎豊学校への送迎に伴う保護者負担軽減、また、感染リスク低減を図るため、スクールバスを増車
- ◇看護師による医療的ケア実施体制の充実
 - ・常勤看護師の配置（9人→14人）、非常勤看護師の配置（76人→85人）

【基本的な取組の方向2】

人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、実践力を伴った
道徳性・社会性を育みます

① 道徳教育の充実

小中学校における「特別の教科 道徳」を核とした道徳教育を進めるとともに、高等学校における学校教育全体を通じた道徳教育の充実を図ります。

- ◇道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」の活用による指導方法の改善・充実
- ◇県立学校における「地域の未来を創る人材育成事業」の実施

② いじめへの対応の充実

「愛知県いじめ防止基本方針」に基づき、学校や市町村におけるいじめ防止に関する取組を支援し、社会全体でいじめを防止する機運をさらに高め、「いじめをしない、させない、見逃さない」ための取組を積極的に展開していきます。

③ 不登校児童生徒への対応の充実

不登校児童生徒一人一人の才能や能力、可能性を伸ばし、多様な教育を受ける機会を確保するため、教育相談体制の充実を図り、組織的・計画的に個々の児童生徒に応じたきめ細かな支援を行っていきます。

- ◇スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置及び配置する市町村への補助
- ◇24時間体制の電話相談の運営、県立学校におけるネットパトロールの実施
- ◇高校生を対象にした、SNSによる相談の実施

【基本的な取組の方向3】

健やかな体と心を育む教育を充実させ、生涯にわたって、たくましく
生きる力を育みます

① 生涯学習の推進

「第2期愛知県生涯学習推進計画」の基本理念である「自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会」の実現に向け、生涯学習推進体制の充実を目指して取り組みます。

- ◇社会人の学び直しについて理解を深めるためのリカレントフォーラムの開催
- ◇愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」による情報提供

② 家庭教育・子育て支援、子供の貧困対策の充実

すべての子供・子育て家庭への切れ目ない支援や、地域・社会の子育て力を向上する取組を進め、子供たちの将来が、生まれ育った環境に左右されないよう、子供の貧困対策やひとり親家庭への支援に取り組んでいきます。

- ◇放課後子ども教室の実施、中学生等を対象に原則無料の学習支援を行う「地域未来塾」の実施
- ◇公立高等学校等就学支援金、高等学校等奨学金貸付金、公立高等学校等奨学給付金、私立高等学校における入学納付金補助、授業料軽減等による修学支援
- ◇スクールソーシャルワーカーの配置及び配置する市町村への補助
- ◇困難を抱えた若者の社会的自立を目指し、「若者・外国人未来塾」による学習支援を実施

③ 学校体育・生涯スポーツの充実

「いきいきあいちスポーツプラン」に基づき、学校と地域における子供のスポーツ機会の充実や、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進など、愛知のスポーツの振興に取り組みます。

- ◇Webページを活用し、教職員や児童生徒に向けて体力向上運動プログラムを始めとした体力向上に資する情報を発信

【基本的な取組の方向4】

ふるさとの魅力やあいちの伝統・文化に学びつつ、技術の進歩に
取り組み、社会の発展を支える人を育みます

① 社会の担い手の育成に向けたキャリア教育の推進

生徒の特性、進路等を考慮したキャリア教育推進体制を充実させるとともに、地域や産業界等の協力を積極的に得られるよう連携協力体制を構築し、より効果的なキャリア教育を実施していきます。

- ◇魅力あるあいちキャリアプロジェクト「つなぐ」(小中)、インターンシップの実施、キャリア教育コーディネーターの活用(高)
- ◇就労アドバイザーの配置(定時制・通信制高校、特支)
- ◇あいち高等学校男女共同参画海外派遣の実施

② 産業を支える人材の育成

社会に求められる資質・能力に、的確に対応した人材の育成を図り、大学・専門学校や企業等と連携し、社会に開かれた教育を推進します。

- ◇工業高校の「工科高校」への校名変更と学科改編(全工業高校:2021年度)
- ◇「あいち科学の甲子園」、「知の探求講座」、「技の探求講座」等の開催

【基本的な取組の方向5】

世界とつながり、生き生きと活躍するために必要な力を育みます

① グローバル社会への対応の推進

グローバル社会の中で、本県で生活する全ての子供が、将来、自らの能力を十分に発揮できるよう取り組みます。

- ◇小学校における英語専科指導教員の配置
- ◇「イングリッシュキャンプ in あいち」「イングリッシュ1Day ツアー」の実施
- ◇専門高校生海外インターンシッププロジェクトの実施
- ◇あいちグローバルハイスクール事業の実施（旭丘高校、時習館高校）

② 日本語指導が必要な児童生徒等への支援の充実

外国人の子供の就学促進や学校への円滑な受入れのための取り組みを、関係機関が連携して進めるとともに、人的配置の充実やICTの活用等を含めた支援を推進することにより、外国人児童生徒等が、誰一人取り残されない体制の確立を目指します。

- ◇日本語教育適応学級担当教員の配置拡大、語学相談員の派遣（小中）
- ◇市町村が実施する「日本語初期指導教室」の運営や、ICT機器を活用した教育・支援への補助
- ◇若者・外国人未来塾の実施（学習支援実施地域：8→9地域、日本語学習支援実施地域：3→4地域）
- ◇定時制高校の外国人生徒等の就労先を開拓する就労アドバイザーの設置
- ◇外国人生徒等教育支援員の配置及び小型通訳機の配備（高、特支）
- ◇あいち外国人の日本語教育推進会議の開催、「あいち地域日本語教育コーディネーター」の派遣

【基本的な取組の方向6】

子供の意欲を高め、教師の働きがいがある魅力的な教育環境づくりを進めます

① 学校における働き方改革

長時間勤務の解消に向けて、教員の負担軽減を図り、質の高い教育を持続的に行うための環境を整えます。

- ◇出退勤管理システムによる在校等時間の客観的な把握
- ◇教員が在校のまま受講できるeラーニング研修やオンライン研修の実施
- ◇専門スタッフの配置（部活動指導員、スクール・サポート・スタッフ、学習指導員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー、情報通信技術支援員等）
- ◇休日の部活動の段階的な地域移行に向けた実践研究
- ◇専科指導教員を増員し（専任100人→131人、非常勤講師32人→38人）、小学校高学年における教科担任制を推進

② 教員の人材確保と資質向上の推進

教員の専門性を高めるとともに、人材の確保と資質の向上を図るための取り組みを充実させていきます。

- ◇教員のキャリアステージに応じた体系的かつ効果的な研修の実施
- ◇教員採用選考試験における選考の種類、試験内容の充実

③ 学校施設・設備の充実

「県立学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的に老朽化対策を進めるとともに、快適な施設環境の整備に取り組んでいきます。

- ◇「県立学校施設長寿命化計画」に基づく老朽化対策の実施
- ◇県立学校における床の乾式化及び便器の洋式化によるトイレの環境改善
- ◇武道場の吊り天井の耐震対策を継続実施

【基本的な取組の方向7】

大規模災害や感染症拡大等の緊急時においても、子供たちが安心・安全に学べることを保障します

① 大規模災害や感染症拡大等の緊急時における学びの保障

感染症拡大や大規模災害などの緊急事態においても、子供たちと学校との関係を継続し、学習の保護や心のケア、虐待の防止を図れるよう、切れ目ない学習環境の整備を進めていきます。

- ◇オンライン学習支援サービスの活用
- ◇県立学校的全児童生徒に1人1台タブレット端末を配備（2022年度完了）